



集会の ご案内

カネミ油症は1968年、兵庫県高砂で製造されたPCB(ダイオキシン類)が米ぬか油に混入し、西日本一帯でそれを食した人に深刻な健康被害が発生した食中毒公害事件です。高度成長期にPCBによる環境被害を受けた「ともに市民の会」と製造者責任を追及する集会を開催して今年で4年になります。

このコロナ禍において高砂、五島市、福岡、東京など被害者が多い地区をオンラインで繋ぎ、生の声を伝えます。

「カネミ油症の原因PCB(ダイオキシン類)の製造者責任一次世代まで残る化学物質の健康被害から問う」

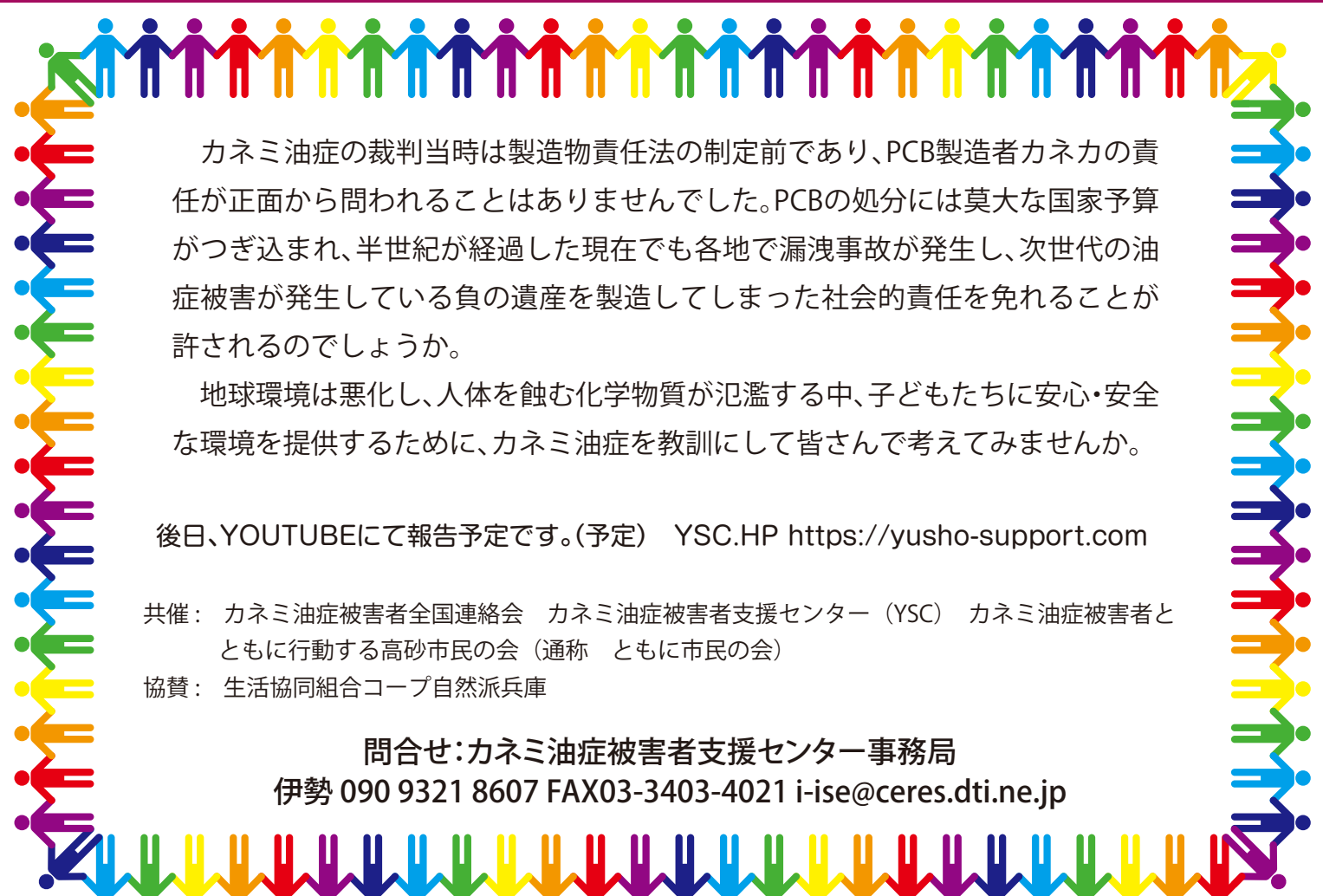
2020 **12月6日14:00~16:00**

場 所 ユーアイ帆っとセンター

〒676-0023 高砂市高砂町松波町440番地の35

東京、名古屋、福岡、五島、長崎などの会場とオンライン(ZOOM)で結びます。

高砂周辺の皆様は、高砂集会にご参集ください。(参加費 500円)



カネミ油症の裁判当時は製造物責任法の制定前であり、PCB製造者カネカの責任が正面から問われることはありませんでした。PCBの処分には莫大な国家予算がつぎ込まれ、半世紀が経過した現在でも各地で漏洩事故が発生し、次世代の油症被害が発生している負の遺産を製造してしまった社会的責任を免れることが許されるのでしょうか。

地球環境は悪化し、人体を蝕む化学物質が氾濫する中、子どもたちに安心・安全な環境を提供するために、カネミ油症を教訓にして皆さんで考えてみませんか。

後日、YOUTUBEにて報告予定です。(予定) YSC.HP <https://yusho-support.com>

共催： カネミ油症被害者全国連絡会 カネミ油症被害者支援センター (YSC) カネミ油症被害者とともに行動する高砂市民の会 (通称 ともに市民の会)

協賛： 生活協同組合コープ自然派兵庫

問合せ：カネミ油症被害者支援センター事務局
伊勢 090 9321 8607 FAX03-3403-4021 i-ise@ceres.dti.ne.jp